

議会だより

おじのかがわ

No.28

平成23年11月25日
発行：吉野川市議会

●目次●

議案の審議から	2
代表質問	6
一般質問	8
市民のページ	14
クイズ	15

平成23年9月議会定例会

議案の審議から

日程：平成23年9月5日～9月26日

9月定例会では、条例関係案3件、予算案8件、決算案11件、専決関係案3件、その他9件が提案され、原案どおり可決・承認されました。

決算特別委員会

▼平成22年度 吉野川市国民健康保険
特別会計歳入歳出決算認定について

質問 歳入歳出差引額が約3億6000万円の黒字ということだが、これは例年くらいの額か。また、その要因は何か。

合からの加入者の保険給付分が確定しなかったことにより、その額を平成23年度へ繰り越したため、黒字が増額されている。

市民部長 内訳は生活困窮者が294名、居所の不明者が36名、生活保護受給による執行停止が59名、相続人不明者が14名、収監中の者が1名の計404名である。

再問 404名の方から収納がないのは、法律的に欠損になったということなのか。

税務課長 404名の方については、時効による不納欠損である。

市民部長 国費への償還金が平成22年度に確定しなかったことと、全国建設工事業国民健康保険組

質問 不納欠損額が3000万円ほどあるが、その主な要因は。

▼平成22年度 吉野川市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について

質問 この特別会計はあと何年か。

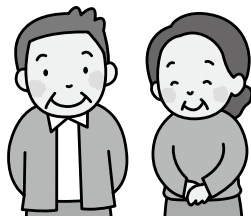
市民部長 平成22年度で終了である。

▼平成22年度 吉野川市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

質問 流用が多いようだがなぜか。

業の事業要望に対する補助金が減額となり、過不足を調整するため事業費の中で流用を行った。

◇以上異議なしで可と認定



水道部長

公共下水道事

の中で流用を行った。

産業建設常任委員会

▼平成23年度 吉野川市一般会計補正予算 第1号について

質問 ふいで温泉の車両

購入費について、温泉施設あり方検討委員会などで各温泉の廃止・民間移管の考えがある中、多額の車両購入費を計上して送迎用バスを購入するのはどうしてか。

段階で判断したい。

質問

保養センター上桜の回数券の払い戻しに係る費用80万円の根拠は何か。

産業経済部次長

法的な

根拠は、吉野川市保養センター上桜条例第9条第2項の特別な理由に該当するという判断であり、金額の根拠については、平成9年から平成22年度末までに販売された回数券の未収分が約20000枚あり、その未収分に使用料を掛けて、ある一定の期間を見積もったものが80万円である。

産業経済部次長

ふいで

温泉の送迎用バスは、取得後24年が経過し、本市の公用車の中で一番古く、安全性の確保が問題となっている。民間移管をする場合、バスは市で使用する方法や温泉施設に付随するものとして譲渡する方法など、いろいろな選択肢があるため、民間移管業者が決定した



取得後24年が経過したふいで温泉の送迎用バス

質問 道路橋りょう災害

復旧費について、平成23年7月18日から20日に到来した台風6号によって災害の起こった場所は。

建設課長

被害を受けた

市道は、山川町川田八幡地区の御饗免・日鷲谷線で、復旧延長が4・5m、主にコンクリートブロック積みにより復旧し、事業費は約100万円を予定している。もう一か所は、鴨島町山路地区の山路坂口・山路黒石線で、復旧延長が28・5m、こちらもコンクリートブロック積みで復旧し、事業費は約500万円を予定している。



質問

農業振興費に

103万3000円を計上している阿波尾鶏の実証実験をしている場所はどこか。

農業振興課長

これにつ

いては、事業費の6割が事業主、4割が県からの補助ということで、市は県補助金として4割分の103万3000円を歳入で受け、それをそのまま山川町の(有)篠塚孵化場に補助するものである。

◇以上異議なしで可と

決定



文教厚生常任委員会

▼平成23年度 吉野川市一般会計補正予算 第1号について

質問 県の補助を最大限利用し、救急医療情報キットを購入し、今回約3000世帯に配布するということであるが市内全戸に配布するという考えは。

福祉総務課長 今回、高齢者世帯や要援護者台帳に記載されている世帯に配布し、いろいろな意見を聞き参考にしながら、配布先を増やすことを検討する余地はあると考えている。

質問 文化振興費の施設整備工事で、船窪のオンツツジを食害から守るためということであるが、鹿や猪の食害の状況について詳しく説明を。

生涯学習課長

猪の被害については、オンツツジ公園の内側および外側に猪が掘った穴がある。公園の中には、オンツツジを根元から掘り返した跡が数か所ある。鹿につい

質問

ては、ごく一部であるが樹皮をはいで食べているところが見つかったいる。

質問

奨学金貸付金が218万4000円減額され

ているがその理由は。また、現在奨学金を受けられている方は何名か。

学校教育課長

現在、奨学金を受けている人数は、平成22年度から平成23年度の継続認定者が私立大学生が5名、国立大学生が10名、高校生が1名である。平成23年度の新規認定者は私立大学生2名、国立大学生1名、高校生は0名である。

予算の減額理由は、当初予算で新規認定者を私立大学生5名、国立大学生5名、高校生3名として予算を計上したが、3月31日をもって受付を終了した結果、私立大学生が3名減、国立大学生が4名減、高校生が3名減となったことによる。

◇以上異議なしで可と決定

総務常任委員会

▼吉野川市税条例等の一部を改正する条例制定について

質問 市民税の納税管理者に係る不申告に関する過料を3万円から10万円に引き上げた理由は。

質問 たばこ税において、過料の額は状況により市長が定めるとあるが状況とは。

税務課長

平成22年に国税の罰則規定の見直しがあり、これを踏まえ地方税法においても脱税犯に係る罰金刑などの引き上げが行われたこと。また、税務職員の守秘義務違反の罰金刑も30万円から100万円に引き上げられたことによるものである。

税務課長

申告ができなかった理由について、天災によるものなど、誰もが理解できる理由があるか否か、状況を配慮し決めることを示している。実際の適用については、規則、要項などの整備が必要になると考える。

◇以上異議なしで可と決定

意見書

▼原子力発電からの撤退と自然エネルギー利用の促進を求める意見書

提出者 岡田光 男議員

◇異議なしで可と決定



救急医療情報キットの見本

代表・一般

ここが聞きたい

質問

9月議会定例会では7名の議員が代表・一般質問を行いました。●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

① 枝澤 幹太 議員

- 安全・安心の取り組みについて
- 麻植協同病院の移転改築について
- 木造住宅耐震化の推進について
- ごみ処理施策について
- 給食センターについて

② 高木 純 議員

- 防災メールについて
- 市のホームページについて
- 避難所の安全性について
- 新給食センターについて
- 小中学校へのミストシャワー導入について

一般質問

③ 栗原 五男 議員

- 職員研修について
- 産業、経済施策について
- 教育行政について
- 環境行政について

④ 川村 洋樹 議員

- 麻植協同病院の移転・改築について
- 教育施設について
- 東日本大震災から学ぶ本市の取り組みについて

⑤ 相原 一永 議員

- 学校施設の防災機能について
- 学校における図書室の整備について
- 救急医療情報キット整備事業について

⑥ 岡田 光男 議員

- 災害に強い市政について
- 原発対策と自然エネルギーについて
- 麻植協同病院の移転について
- 医療費の公費負担について

⑦ 岸田 秀樹 議員

- 閉園した吉野川遊園地について
- 安全安心のまちづくりについて



平成23年9月議会定例会

代表質問



枝澤 幹 太 議員
(薫風会)

木造住宅耐震化の支援制度の
利用状況は

(質問)

耐震診断、耐震改修事業とも予
定件数を完全実施している

(答弁)

◎質問 30年以内に60%の確率で起こると予想されている南海、東南海地震が起こった場合、徳島県では震度5強から6強の揺れがあり、建物の倒壊による被害が考えられる。

度から実施されている本市の木造住宅耐震事業について対象となる昭和56年5月31日以前に建築された一般木造住宅の現在の支援制度と、その利用状況の説明を求めます。

先の阪神・淡路大震災では犠牲者の80%以上が建物倒壊による窒息死、圧死によるものである。一方、新潟県中越地震では豪雪地帯のため強度の高い住宅が多く、倒壊による犠牲者が少なかったと聞いている。平成16年

○松岡建設部長 本市の木造住宅耐震事業は、耐震診断事業と耐震改修事業の2つある。平成16年度から平成22年度までの実施件数では、耐震診断事業527件、耐震改修事業61件である。特にこの3年間、2つの事業とも当

初予算で予定していた件数が完全実施されている。今年度は耐震診断事業では200件予定のうち170件以上、耐震改修事業についても、予定の12件すべて受付が完了している。また、市内の一般木造住宅は約1万4000棟あり、対象となる建物は約5600棟ある。その内98%にあたる建物、約5500棟以上が耐震改修が必要だと予測している。この予測値によ



阪神・淡路大震災

る平成23年度末の進捗率は耐震診断事業では14・1%、耐震改修事業では1・5%である。

◎再問 東日本大震災や先の阪神・淡路大震災の教訓から市民の防災に対する感心も高く、予定されていた事業件数もすべて受け付けが完了している状況をふまえ、今後この2つの事業の拡大、支援制度の充実を早急に実施し、安全・安心なまちづくりの第一歩を後押しする考えがあるのか。

◎松岡建設部長 耐震化事業のうち耐震改修事業について、事業費の3分の2で限度額60万円の補助となっている。内訳は、県が30万円、市が30万円である。今、市が負担している30万円の補助額を増額する方向で検討した。

◎再々問 補助金増額に向けて市長の考えは。

◎川真田市長 安全・安心なまちづくりを進めていくためにも、市民の負担軽減策として、耐震診断費用の無料化および耐震改修工事でも市の補助金30万円に上積みしていく方向である。

「その他の質問」

◎質問 環境センターの統合を早急に図るべきではないか。また、ごみ収集業務の職員数減少に伴う対応は。

◎環境局長 学校給食センターの跡地を活用し、(仮称)環境局運転管理センターを建設し、収集車の運転管理の拠点として統合を図る。統合の時期は平成25年度を目標。また、収集業務については、収集運搬に係るコストを削減するために段階的に大型車の導入を進めていく。



高木 純議員
(日本共産党)

台風などの災害時に市のホームページを災害バージョン化してはどうか

(質問)

災害時にホームページで防災情報が見やすいよう変更したい

(答弁)

◎質問 災害時の情報ツールとしてインターネットは今やなくてはならないものになっていく。

東日本大震災では地震当日は電源がないので、もともと役に立ったのはラジオで、電源が復旧するにつれインターネットがテレビに次いで多く使われているという調査結果がある。

そして、そのインターネットで被災者が見たのは1番目がヤフーで、2

番目は自治体のホームページである。

本市でもインターネットの普及は加速度的に増加しており、市民の情報ツールとして欠かせないものになっている。

ところが、本市のホームページを見ると、台風の大雨で道路が冠水しても、市役所の周りに水がきても、市のホームページはいつもと同じである。

台風12号の際には「避難準備情報」が出たが、

他のいつもある新着情報と並んでいるので注意喚起するものではない。市民は本市の詳しい状況を知りたいはずである。例えば、飯尾川の水位はどうなっているのか。また川島町の桑村川は大丈夫か、山川町の岩屋谷川は。などなど。

また、避難準備情報が出ても、ホームページで最寄りの避難所を探すことすら困難な状況である。この際、台風などの災

害時には、市のホームページを「災害バージョン化」して、トップページを開けば、防災情報が見られるように改善すべきだと思うが。

◎葉原総務部長 災害時に当該災害のみの情報が表示されることとなりますと、市民の皆様へ早く見やすく、分かりやすくなると思われる。直ちに災害の新着情報が表示されるよう変更したい。



市のホームページ

平成23年9月議会定例会

一般質問



栗原五男 議員

「NPO法人吉野川に生きる会」
および「鴨島駅前まちづくり会」
の位置づけと支援は

(質問)

それぞれの活動内容に応じた支
援を行っていく

(答弁)

◎質問 全国でNPO法人などによる「まちづくり」が非常に流行っている。本市も、吉野川に生きる会が遊休地に菜の花を植えて、市民の心を癒し、観光にも活用し、その後植物油をとって、それを売り出すとか、「鴨島駅前まちづくり会議」が、駅前活性化のためフリーマーケットを常設したりして、まちづくりに取り組んでいる。吉野川市として、「NPO法人吉野川に生きる会」お

よび「鴨島駅前まちづくり会議」の位置づけはどのような形になっているか。また支援はどうなっているか。

○井内産業経済部長 市として位置づけについて、協働は、それぞれが単独で行うよりも、協力して取り組んだほうがよりうまくいくと考えられたときに行われる。まちづくりのパートナーとしての互いの持ち味を生かせる、さまざまな協働の

あり方を模索することが大変重要であり、イベントの開催など、NPOと行政が対等な関係で共同で事業を行い、NPOがそのネットワークを生かして、アイデアやボラ

ンティアを、そして行政が資金や場所を提供するといった関係である。いずれも、連携することがおのの自立を妨げないよう配慮しつつ、情報公開の仕組

入場無料

まちかどコンサート

第140回

まちかどイベント in かもじま駅前

10/16 (日) 10:00~

遊びに来てね

鴨島第一中学校
ウィンドオーケストラ部

鴨島小学校
金管バンド部

めぐみ幼稚園
鼓笛隊

飯尾敷地小学校
金管バンド部

DANCE・歌
ワークショップのCMで撮ってます!

瑠偉 (武澤瑠偉)

★カマンベール
★ひまわり
★アミンダ

そのほか多数
出演予定!ご期待ください!

★会場 鴨島駅前「あけわ」駐車場 (老人ホーム)

駅前フリマ
参加者募集!
1フース500円~

2011
11月27日(日)
来月は
駅前でショッピングコンサート

徳島県まちづくり環境大賞・優秀賞受賞 (2004)

主催:まちかどコンサート実行委員会
連絡先:TEL:0883-24-2400 FAX:0883-24-3725(休日) TEL/FAX:0883-24-7828(夜間)

みを取り入れたり、事業ごとにきちんと成果を確認しながら、それぞれの活動内容に応じた支援を行っていく。

「その他の質問」

◎質問 観光行政について。

①各イベントの人数は。

②五九郎まつりをもっと売り出せないか。また、菊人形を今後どうしているのか。

③吉野川ブランドについて鴨島商業高校生や商店主、農業関係者との連携は。

いく。

菊人形については、70年以上の歴史を持ち、昨年は4万2000人が来場するなど、今なお市内外の方々に広く親しまれており、本市の伝統文化の一つとして、できるだけ長く後世に伝えていく。

吉野川市認証ブランド商品については現在60品目がある。引き続き、関係者との連携を図り、積極的かつ効果的なPR活動を推進し、認証商品を通じて吉野川のイメージアップや地域産品の流通拡大、地域産業の活性化につなげていきたい。鴨島商業高校が阿波農業高校と統合し吉野川高校となることから、さらに連携を深めるとともに、他の分野においてもどのような連携が可能か検討していきたい。

五九郎まつりについては、効果的な周知方法、内容の充実など検討して



川村 洋樹 議員

教育環境の充実および安全対策について

(質問)

学力向上・健康・安全面など考慮し、エアコン設置を検討する

(答弁)

として、教育環境の整備を行う必要があると考えている。

よつな格差の是正に取り組む考えはあるのか。

◎再問 教室の温度が高温である現状から、教室内において熱中症なども危惧されるが、エアコンの設置はできないのか。またエアコンの設置状況をみると、一般教室において設置されている学校と設置されていない学校があり、学校間での格差問題も生じている。この

◎貞野教育次長 エアコンの設置は、図書室や音楽室などの特別教室、幼稚園の保育室、特別支援学級では完了している。通常学級における設置についても、学校間での格差も把握しており、今後学力向上・健康・安全面など、メリット・デメリットを考慮し、検討を重ねていく。

◎質問 地球温暖化に伴う環境の変化により、記録的な猛暑が続いているが、今年度、山瀬小学校において5月末から7月15日までの間、各教室の温度変化を私が調査した結果、6月以降、非常に室温が高い日が続いている。また7月4日の5時限目には39度といった厳しい状況であった。教育委員会はこのような状況をどう考えているのか。

◎貞野教育次長 教室温度の現状を把握する

ため、すべての小・中学校の室温測定を行った結果、ほとんどの教室で30度を超えていた。文部科学省の学校環境衛生基準では、教室の温度は10度以上30度以下が望ましいとあり、児童・生徒に生理的・心理的に負担をかける条件は、冬季で18度から20度、夏季で25度から28度程度とされている。本市の学校教室の温度は、文部科学省の学校環境衛生基準を上回っており、教育環境は厳しい状況にある。教育委員会



[その他の質問]

◎質問 麻植協同病院の移転・改築に伴い救急医療体制の充実と、医療を中心とした地域活性化を行えないか。

○福祉事務所長 救急医療機関や関係者連絡会などに要望する。

○総務部長 厚生連と連携協議をし、地域の活性化につながるよう最大限支援を行う。

◎質問 災害情報をケーブルテレビで流せないか。

○防災局長 ケーブルテレビと協議し、流せるようにしたい。



相原 一 永 議員

災害時、避難所となる学校施設は防災機能が果たせるのか

(質問)

雨風をしのぐのが精一杯

(答弁)

◎質問 建物の耐震化は順次進んでいるようだが、教室や室内運動場が避難所としての安全性が確認でき、避難所としての役割を果たせるのか。体育館の天井や教室の蛍光灯が落下しないよう対応はできているのか。防火シャッターが閉まってしまう、避難経路がふさがらないのか。また、テレビ・ピアノ・本棚などの重量物が転倒、落下しないのか。飲料水、食料は避難人数を推定して十分な備蓄はできているのか。

か。プールの水を洗浄水として活用できるのか。シャワー・お風呂はどのように対応するのか。電気・水・ガスなどのライフライン対策はどのようなように考えているのか。停電対策は。災害時期にもよるが、猛暑時の暑さ対策、冬季の寒さ対策は。照度、プライバシー対策は。また体調不良やストレス対策はどのように考えているのか。

○辻内教育次長 教室や体育館における落下物に



災害時避難所となった体育館

ついては耐震工事とあわせて進めている。蛍光灯など高いところに設置しているものは、落下しないように補強する予定である。テレビ・本棚などの重量物は、基本的に転倒防止器具で固定している。地震などの災害の程度にもよるが、転倒の心配はないと考えている。防災扉は、万が一、火災などが発生し、防火

扉が閉鎖されても、逃げておくれた子どもたちは出入りが可能な小さな扉が設置されており、避難経路が完全にふさがってしまいうことはない。

また、トイレの水にプールの水を洗浄水として活用する設備にはなっていないが、学校においては間仕切りなどは考えていないが、長期にわたる場合は速やかに仮設住宅に移っていただく。体

○上野防災局長 本市の想定避難者約31000人のアルファ米・乾パンなどを本庁舎・川島庁舎・山川庁舎・美郷庁舎に分散し保管している。

災害におけるライフラインの確保については、関係機関と連携し、迅速かつ適切に復旧対応に努める。照度の確保とプライバシー対策は、教室・体育館の照度は200ルクス以上とJISで決まっている。また、プライバシー対策としては初期災害時には間仕切りなどは考えていないが、長期にわたる場合は速やかに仮設住宅に移っていただく。体

は使用できる。しかし、タンクが壊れたら対応できない状況である。学校はもともと避難所としての設備ではないので、市民の方々が避難してこられた場合、快適な避難生活はできず、雨風をしのぐのが精一杯である。

調不良への対応・ストレス対応は、保健師による健康診断・健康相談の実施、健康不安などの解消や疾病の予防と早期発見に努めたい。

【その他の質問】

◎質問 学校図書館の人的・物的整備の推進をすべきと考えるが。

○教育次長 12学級以上の市内の全ての小・中学校に司書教諭を配置している。また、物的整備は計画的に整備を進めている。

◎質問 救急医療情報キット整備事業について、対象者にどのように配布し説明をするのか。

○健康福祉部長 各地域の民生委員児童委員、地区社協、小地域ネットワークの皆さんに協力をいただき、できる限りサポートしていきたい。



岡田光男議員

被災地復興支援活動の報告会を開く考えは

(質問)

「広報よしのがわ」やホームページなどで伝え、防災意識の向上を図りたい

(答弁)

だが、現行の職員体制で心配はないのか。

○上野防災局長 震災後延べ16名の職員が石巻市において、それぞれ10日間にわたり物資の配送や災害関連業務などの支援活動を実施し、保健師4名も宮城県で避難所の健康管理に務めた。また、現地での活動内容、意見など集約し、今後の市の防災行政などに活用して

まいりたい。被害を最小限にとどめるには、住民、市、県および防災機関が相互に連携協働することが重要であると考える。職員数減については、災害援助協定を結んでいる業者などの協力を得て、カバーしてまいりたいと考えている。

◎再問 積極的に被災地の様子を自治会や学校、自主防災組織に報告して行くことも市の任務と考えるが。

○上野防災局長 8月の「広報よしのがわ」に石巻市に派遣された職員のレポートを紹介しており、今後はホームページなどで市民に伝え、防災意識の向上を図ってきたい。

国に要望していく考えは。

○総務部長 あらゆる機会を通じ、国などへ要請していききたい。

◎質問 麻植協同病院の移転は、地元の声が十分反映されることが重要と考えるが。

○副市長 ある程度の形が見えてから地元説明会と考えているが、市民の要望は厚生連に伝えたい。

◎質問 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種に公費助成は。また子どもの医療費無料化を中学校卒業までにできないか。

○健康福祉部次長 国の動きを十分注視し、今後適切に対処したい。子どもの医療費無料化については、今後において十分検討したいと考えている。



自主防災組織による避難訓練

【その他の質問】

◎質問 原発から撤退し、再生可能なエネルギーに切り替えるよう、



岸田 秀樹 議員

市道における橋梁の耐震診断結果は

(質問)

橋梁67橋の内、耐震化できている橋は19橋だけ

(答弁)

◎質問 市道に関する橋梁の耐震診断について、現在耐震診断が終了したとのことだが、結果はどのようなになったのか。また国道、県道の橋梁についても関係省庁より本市に対してどのような結果の連絡が来ているのか。

れた。

本市の管理する橋梁は67橋で、その約4分の3は、橋長10m以下の鉄筋コンクリート床版橋で、供用開始から20年以上経過しており、構造物の老朽化は否めない状況である。適切な維持管理により、橋梁の長寿命化を進めていく必要があると考えている。

○松岡建設部長 地震に対する設計の指針となる耐震基準は、平成7年に発生した阪神・淡路大震災後に改正され、この基準にもとづき橋梁の設計・施工・改修が進めら

新基準で築造した橋梁が14橋、耐震改修工事として、落橋防止対策を講じた橋梁が5橋で合計19橋。残りの62橋は耐震性

に必要機能を持しているかと判断している。本市における、緊急輸送路および避難路として、特に重要性の高い国道192号線は全ての橋梁の耐震化が完了していると国から報告があり、県道については橋長15m以上の橋梁32橋（潜水橋は除

◎再問 防災局として橋梁の耐震化結果をふまえ、本市の各地域の自主防災組織に説明すべき必要があると考えるが、今



耐震補強が完了している橋

まで各地域ごとに自主避難方法・場所の設定（1次・2次避難）を指導してきて、地域の防災マップができてきているのだから、耐震結果にもとづいて避難路に橋があるところは、新たな避難路を地域の防災マップに取り入れて見直していく方向を指導してはどうか。

○上野防災局長 橋梁の耐震診断の結果により、耐震化ができていないことを自主防災会に連絡し、このような状況を地域の防災マップに加味し、改めて避難路の見直しをしていくよう指導していきたい。

【その他の質問】

◎質問 廃園になった吉野川遊園地の中の川について、市が管理するのか。

○総務部長 市が管理をするのは水面だけである。

本会議・委員会の傍聴をしませんか

皆さんが選んだ議員の活動や行政が今、どのようなことを行っているかを知っていただくために、本会議などの議会の傍聴をしませんか。



どなたでも傍聴できます。

お気軽にお越しください。 TEL 22-2241

● 会議録をご覧ください ●

議会だよりに掲載された事柄以外の質問や答弁の内容を吉野川市のホームページ内に掲載していますので、ぜひ一度ご覧ください。

吉野川市議会会議録

検索



平成23年 第2回吉野川市議会臨時会

台風15号などで 補正予算 災害復旧に2億円

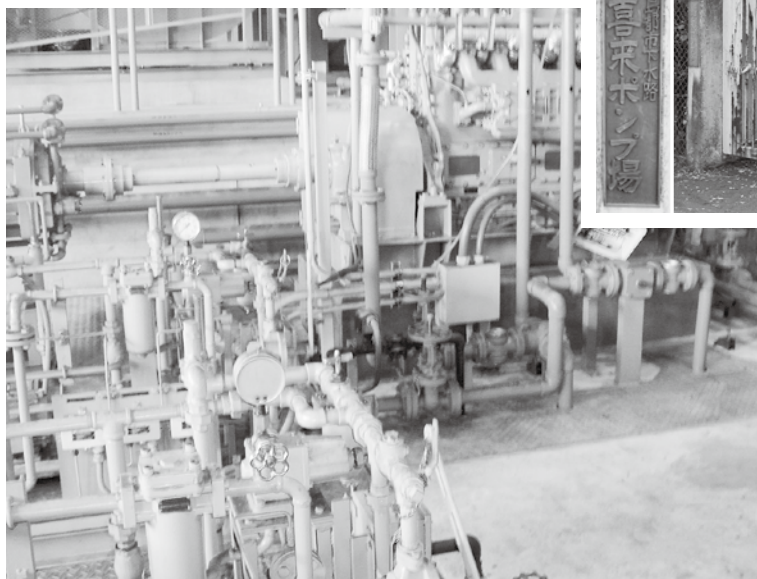
日程：平成23年10月11日

議案：「平成23年度 吉野川市一般会計補正予算第2号」および「平成23年度 吉野川市公共下水道事業特別会計補正予算第2号」

議案説明：今臨時議会は、台風15号などにより発生した災害復旧に早期に取り組むための補正予算である。

主な復旧事業としては、豪雨により鴨島町喜来の雨水ポンプ場内が浸水し、排水ポンプやエンジンなどの機械・電気設備が故障し改修するもの、また、市道、農道、林道の道路法面崩壊などのほか、公立学校施設の浸水による災害復旧、向麻山公園および川島公園の山腹崩壊などのため復旧が必要となったものなどで2億円を追加し、補正後の総額を211億1936万円とするものである。

◇以上異議なしで可と決定



台風15号により浸水した鴨島町喜来の雨水ポンプ場

市民のページ

被災者の皆さんに

エール

鴨島町 工藤直己

1945年7月4日 未明、B29爆撃機が徳島に飛来、2時間に渡って市街地に焼夷弾を投下、焼け出された市民は7万人。私は5歳で幼稚園に通っていました。この度の東日本大震災の特別報道写真集を見て、遠い昔このような光景を薄らいだ記憶の中で見たような気が頭の中をよぎりました。思い出したのです。弟を背中におんぶし、私の手を引いた母と一緒に戦火の中を逃げました。朝方だったと思

いますが、家に帰りついた時に目に映ったのが、この大津波に流された町々の景色と同じだとはつきり思い出しました。瓦礫が山積みとなっていました。涙がでてきます。でも震災に遭われた人達が皆さん前向きに頑張っている姿を見てみると感動します。うれしい気持ちになります。でも、本当は大変なんでしょうね。小さな島国だけど、それでも立ち上がってきたのが日本なんじゃないの。頑張れ超頑張れと応援したい気持ちで一杯です。今書

た。その後家族4人で鴨島町に来て65年経ちました。そして2011年3月11日、東日本大震災が起きました。もう4か月も経つのに、皆さん不自由な生活をされています。胸が締め付けられる思いでテレビを毎日見えています。あの避難所の皆さんのことを思うたびに涙がでてきます。でも震災に遭われた人達が皆さん前向きに頑張っている姿を見てみると感動します。うれしい気持ちになります。でも、本当は大変なんでしょうね。小さな島国だけど、それでも立ち上がってきたのが日本なんじゃないの。頑張れ超頑張れと応援したい気持ちで一杯です。今書

きなから私も泣いています。小学生の子どもからお年寄りまで、今自分のできる、みんなにもできるボランティア活動。一日に1回はテレビで頑張っている姿が映ります。取り組んでいる姿を見ながら目頭が熱くなります。日本人としてすばらしい人が大勢いることがよくわかりました。日本人に生まれて良かったと思えました。日本人だけでなく外国の方達もものすごく応援してメッセージやら色々な物を贈ってくれているそうです。困った時にはお互いに助け合うその精神こそがボランティアなのであるとすれば、義援金を少しですが何か所かの箱に入れていただきたいと思います。私の知っている方も現地でのボランティア活動に参加されたそうです。本当にごくろう様と心からねぎらいたい気持ちで一杯です。避難所

におられる皆様もおつらいでしょうが、精一杯頑張ってください。一日も早く復興される日を楽しみに待ちましよう。元気で元気を出して待ちましようね。最後にになりましたが、被災された皆さまに謹ん

(この文章は7月にお寄せいただきました)

上杉鷹山公の理念

山川町 原田親光

経済至上主義の行き詰まりと政権維持の混乱の中で、東日本に大災害が襲った。地震・津波は多くの国民大多数の生命・財産を一瞬に奪った。原発事故は放射能恐怖で国民をおののかせている。予知せぬ出来事といわれとも逃れようがない不安が続いている。国家百年の計を図る政治家の洞察に疑問をもつ。

上杉鷹山公は小藩から養子として米沢大藩の財政立直しにと迎えられ

でお見舞い申し上げます。一日も早く復興されますよう心からお祈り申し上げます。どうぞ負けないでお元気でいてください。きつと笑える時がきますよ!!

た。武家の空地に桑を植えさせ蚕を飼わせ絹糸を紡ぎ絹織物として付加価値をつけて全国に売った。士が百姓の真似事かと抵抗があつたが、やりと抵抗があつたが、やりとげた。また、エゾウコギを生垣として植えさせた。朝鮮人参・ウド・タラの木の仲間を漢方の生薬だ。強壮・肝機能の改善によい。一汁一菜。藩主が範を示しビジョンの慈悲で領民の信を得た。住民が受け身でなく活発に活動して成功した。

それにしても高齢化は速く、年寄りへの支援がある。ボランティアとは、ラテン語で「自的な自ら志ざし活動する人」という意味だ。無縁社会から福祉社会への移行だ。地域活性化は人と人の結びつきから始まる。それは老人だけのことではない。電力不足から節約は消費の認識を改めさせた。エネルギー消費を減らし使い方を工夫しながら経済成長をしていくことへの意識改革だ。ものづくりの力での地域活性化で住民の愛郷心からの連帯感づくりだ。

商・観光に協力参加を勧めることだ。わが家では、ウコギの新芽を散らしずしの具にする。タラの木は防風・防暑、蓄はてんぶら、根は煎じ飲む。糖尿病発症率全国第一位はただけ

グローバル化・複雑化は鷹山の理念もすべて通用とはいかぬが確固としたビジョンと慈愛は政治家の根本資質と思う。



議員は地域住民の意思を集約し活性化させる責務がある。住民個人の好奇心を誘発し自発的参加を促す指導者であって欲しい。市長もまた地域の実態を知らせ地域活性化のビジョンを示し住民の活動の場と機会をつくるべきだ。そのため人材を招聘し育成が大切だ。住民が積極的に農・工・

クイズ



後は野となれ〇となれ
 ○嶺の花
 峠を〇す

〈問題〉 右の〇に入る漢字はなにか？
 3つの漢字を入れ替えると吉野川市の名所となります。漢字で答えてね。
 ☆ヒント・秀麗なその姿から阿波富士とも呼ばれています。

- ◎ 正解者の中から抽選で10名様に吉野川市ブランド認証品を進呈します。
- ◎ 応募要領／はがき、またはファックスに答えて住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局へお送りください。
- ◎ 応募の際に「チョットひと言」添えてみませんか。
- ◎ 送り先／〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
 TEL(0883)22-2241 FAX(0883)22-2242
- ◎ 締め切り日／平成24年1月13日(消印有効)

チョットひと言

☆今年は何といっても「3・11の東日本大震災」を忘れることができません。被災地の一日も早い復旧、復興を祈念して止みません。

☆鴨島町阿波踊り8月14日 見る阿呆 元気をもらいました。(川島町 尾崎さま)

☆中学生の子どもにも医療費を助成してもらいたいです。(鴨島町 丸岡さま)

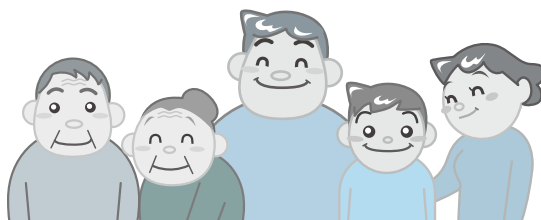
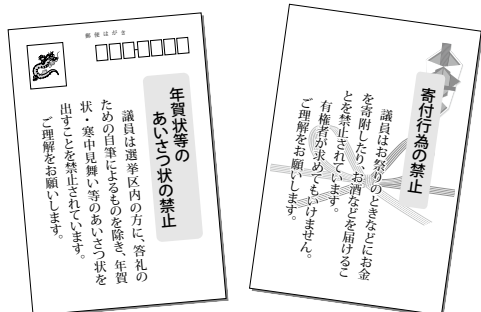
☆学童保育を後30分長く18時迄にしてくださいと助かります。(山川町 後藤さま)

(鴨島町 相原さま)

◎(前回の回答)

- ①まぐろ ②おこぜ ③さんご ④くらげ ⑤ほうぼう
- ⑥いるか ⑦いわし ⑧うまづらはぎ

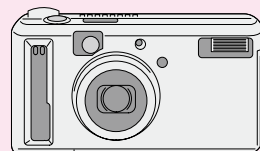
【応募総数】65通



募 集 要 項

- テーマ** 吉野川市で撮影した季節の風景や祭り、行事など。
- 規定** モノクロおよびカラープリント 2L判～四切・W四切組写真も可（3点まで）住所・氏名・電話番号・題名を明記。
- 締め切り** 平成24年1月31日（消印有効）
発行は2月です。季節感のあるものをお願いします。
- その他** 作品の返却は行いません。採用された作品の使用およびトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。
- 応募先** 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242

募 集



表紙の写真

市民の皆さんの
声を掲載

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観など多岐に渡って文章を募集します。フアックスでも結構です。

：規定：

● 400字詰原稿用紙2枚以内
住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記

● 締め切り

平成24年1月13日（消印有効）

* 投稿多数で掲載できない場合は、ご容赦ください。校正などは、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

：あて先：

〒776-8611

吉野川市鴨島町鴨島115番地1

TEL (0883) 22-2241

FAX (0883) 22-2242

あ と が き

「鴨島駅前まちづくり会議」が町活性化の一環として、フリーマーケットの常設会場をオープンした。色々な品物がある。私が子どもに買いあたえた昔なつかしいブリキでできた新幹線もある。低炭素型まちづくりを進めていく中で、稲荷新地などを生かしてのイベントが行われた。

阿南高専生の落語には、たくさんの老若男女がお腹をかかえて笑った。鴨商生は自分たちの作った物品を販売し、茨木県からきたお茶屋さん、色々な茶葉の組み合わせで、体

調にあわせたお茶を作り提供している。盛況である。新しい建物などを作らず、古い街並みを生かすということが低炭素につながる。他所に先駆けてエコに取り組む「まちづくり」を進めている人々にバンザイ！

栗原 五男

